

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

真田

生き生き ふるさと通信

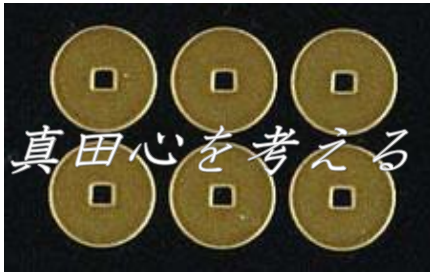
第35号 2013年 10月15日発行【真田地域に全戸配布】



10月5日（土）

真田中央公民館大ホールでいきいき祭り（アザレアンさなだ ご利用者様の敬老会）が行われました。

真田中学校の吹奏楽部、ダンスクラブKDC、まるこ福祉会の皆様の発表がありました。



第5回 真田三代の活躍

常田 軍三

— 真田三代の活躍 —

二、幸隆の活躍

① 海野平の合戦と幸隆

真田一族の具体的な名が、初めて歴史上に登場するのは、幸隆の時代からとされています。それまでは、真田地域^{おさ}長に営々として続いてきた、取るに足らない小さい豪族でした。そんな真田氏は、幸隆の時代に、一躍世に躍り出て、その名を世間に知られるようになるのです。だから幸隆は、後に真田中興^{さなだちゅうこう}の祖といわれています。

幸隆が世に出るきっかけになったのは、「海野平の合戦」に敗れ、上野^{こうずけ}（今の群馬県）に逃亡したことが発端になったといわれています。まずはこの合戦について説明します。

海野平の合戦は、幸隆の母方の祖父で、海野^{うんの}（今の東御市）の海野宿のあたりに居住していた東信濃随一の大豪族の海野棟綱^{うみのむねつな}が、天文10年（西暦1541）甲斐^{かい}の武田信虎^{のぶとら}（信玄の父）・諏訪の諏訪頼重・坂城の村上義清の連合軍に攻められた戦いです。この戦いは多勢に無勢、海野軍は戦いに利あらず敗れてしまいました。

幸隆と棟綱は再起を図るため、上野の吾妻郡^{あがつまぐん}の親戚を頼って逃げ延びました。そして、上野の地で数年間流浪の生活を送りました。この時、武田信玄から家来にならないかという声がかかり、甲府に行き仕えることになりました。

信玄は信濃制覇^{せいはい}の夢を実現するために、東信濃出身の幸隆を信濃先方衆^{さきかたしゅう}の一員として、使うことを考え、また幸隆は愛するふるさと真田へ帰るための手段として、仇敵^{きゅうてき} 信玄に仕えることを決意したものと考えられます。

こうして、武田家の家臣となった幸隆の類^{たぐい}まれな活躍が始まったのです。幸隆は長男の信綱と昌輝を人質として、信玄の下に差し出し、自らも妻とともに躑躅ヶ崎の館の近くに住み、厳しい奉公をすることになりました。

（次号に続く）

 日替りランチ 600円<コーヒー付700円> 数に限りがあります。 軽食(カレー、ピラフ等)やスイーツもごさいます。 TEL (0268) 72-8100 定休日・日曜日 11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)	広告募集中です。 金額は、 1回 3,150円、3回でお得な 6,300円 継続掲載も可能です。 詳細は編集部までお問い合わせください
--	--



真田町の社長さん 第9回

ヘアショップナカザワ店主

中澤 ^{ひろゆき} 廣幸 さん

真田町傍陽、緑に囲まれたのどかな風景の中に建つ一軒の理容店。広々とした店内には、三浦潤一氏の絵画や塩沢選手のサインが飾られていて、地元感あふれる、とてもあたたかな雰囲気を感じました。



迎えて下さったのは、店主の廣幸さん。とてもダンディーなご主人でした。

昭和28年にオープン。お父さんの代より60年に渡り営まれてきた理容店。2代目としてお父さんの後を継ぎ、今の場所に移転し20年を迎えるそうです。現在は、奥様と息子さんの3人でお店を営まれています。

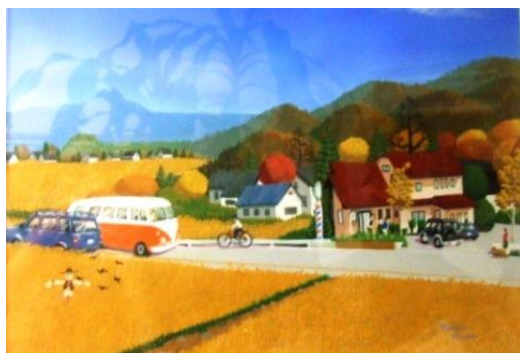
なじみのお客さんが多く、そのほとんどが地元の方で、何世代にも渡り家族ぐるみで利用される方も多く、長い年月を経て、今こうして地域に根付いています。「地元を離れても、田舎に戻り、わざわざカットに来てくれる若い子もいて、とてもうれしい！ 地元の皆さんの支えがあってこそ、今があるのだ」と話してくださいました。

マッサージやシャンプーが気持ちよくて眠ってしまうお客さんもいるとのこと。予定がなければそのまましばらく休んでいってもらえるそうです。心地よい癒しの空間でもあるんですね。時代に合わせ、新しいものを取り入れるため、常に勉強も必要とおっしゃいます。

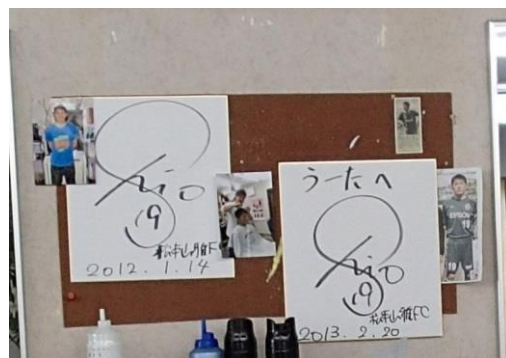
長野県理容組合の理事を務められていて、休日は組合の活動もあり、忙しい日々を送られています。そんな中、たまには趣味であるゴルフを楽しんでいるそうです。

今後の夢をお聞きしました。「3代目となる息子さんが美容師である奥様と、この地で店を盛り立て、そして代々受け継がれていくことが何よりの願いです。」と語ってくださいました。

次回の社長さんには、同じく傍陽の「樹園アオキ」の青木正知様をご紹介いただきました。お楽しみに。（取材日 H25.9.4）



《三浦潤一さんの描いた理容店の風景》



《塩沢選手のサイン》

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆ 美 星 観 望 ☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

アイソン彗星を見てみよう!!!

「^{すいせい}彗星」は尾が伸びた姿から箒星(ほうきぼし)とも呼ばれます。「すいせい」というと「水・金・地・火・木・土」という惑星の「水星」を思い浮かべる人も多いと思いますが、彗星は直径 10km ぐらいの小さな天体です。(ちなみに水星の直径は 4,900 km、地球の直径は 12,700 km です)

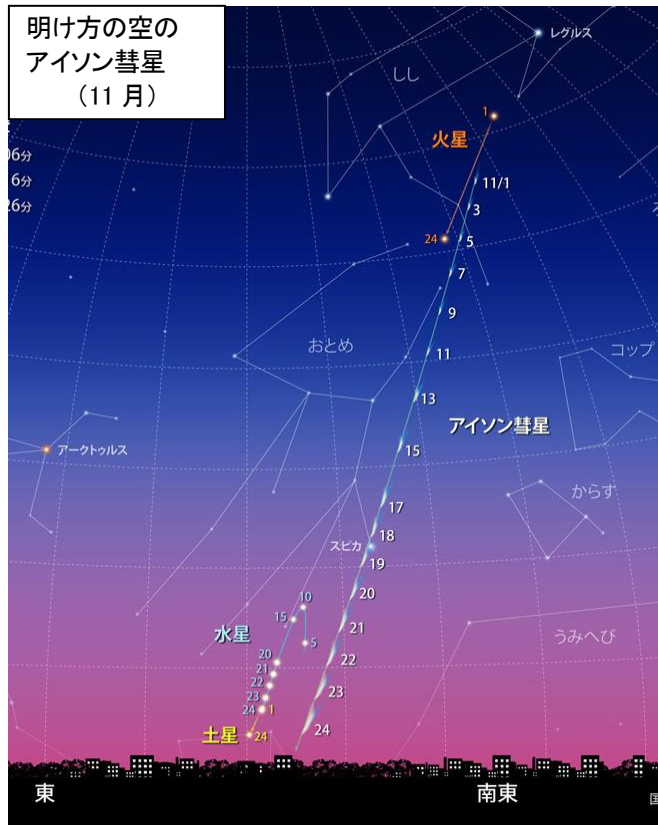
地球などの惑星は太陽の周りを丸く回っていますが、彗星はつぶれた大きな楕円形で動いているため、遠い宇宙の彼方から急に太陽に近づいて明るくなって私たちを驚かせます。

太陽に近づく彗星は一年間に数十個確認されていますが、多くは大きな望遠鏡でないと見ることはできません。でも、何年かに一度、そのまま目で見ることもできる大彗星が登場します。

今、その期待がかかっているのが、「アイソン彗星」です。この彗星は 11 月 29 日に太陽に一番近づき、その後明るい大彗星になるのではないかと期待されています。見えるのは 10 月末から 11 月中旬までと、12 月中旬以降朝 5 時ごろの明け方、東の空です。

実際にどの程度明るさで見えるかは、その時期の新聞やニュースで確認してください。11 月中旬には肉眼で見えることが期待されています。11 月 18 日には「おとめ座」の一等星スピカの近くに見えるので、スピカが彗星を探すよい目印になります。

彗星が、どの程度の明るさになるかは実際に接近するまで分かりません。特にアイソン彗星は太陽にあまりにも近づくため、衝突して消滅してしまう可能性がありますので、11 月中に見ておいたほうがよいでしょう。



そして、太陽に飲み込まれなければ 12 月 10 日ごろに再び私たちの目を楽しませてくれることでしょう。

なお、星図は国立天文台が作成したもので地平線まで見えていますが、真田地域では山があるため見える範囲が限られることに注意してください。なるべく東側の山が低い場所で見るとよいでしょう。

〔真田☆星の会 滝沢〕

行ってきました！

真田包括だより



猛暑の夏も過ぎ、実りの秋を迎えておりますが、みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

真田地域包括支援センターから真田地域のイベントなどをお伝えいたします。

去る9月14日（土）、真田総合福祉センターと真田体育館で「第26回ふれあい広場 in さなだ」が開催されました。お天気にも恵まれ、高齢者の方から子どもさんまで大勢の方にご来場いただきました。この広場は、アザレアンさなだ・真田地域ボランティア連絡協議会をはじめ、35団体からなる実行委員会が主催し、また地域の皆さんからバザー用品をご提供いただき、全て手作りのイベントとして盛り上げていただきました。



この広場では、東日本大震災の被災地支援として「石巻海産物の販売」が行われ、被災地の復興状況などの写真の展示等も行われました。物産品として「いかの塩辛」「わかめ」「海鮮ふりかけ」などの人気商品が大特売で沢山の方が買い求めておられました。

体育館では、「バザー」が行われ、真田地域以外の方からも商品をお寄せいただきました。沢山の商品の値札付けも大変な動力を費やし、日赤奉仕団の皆さんの御協力をいただき、列を作るほど大勢の方に短時間で完売されました。



今回も真田中学校のみなさんにもボランティア活動としてご参加いただきました。それぞれのブースで見まね、手まねでお客様を、おもてなしをいたしました。

午後、福祉センターの講堂では、フィナーレのイベントとして「地元の真田六文銭太鼓」の披露と手話ダンスをみんなでを行い、素晴らしい体験をいたしました。

包括支援センターは、地域の高齢者の皆さんの心身の健康と生活の安定のための援助を行う役割を持って地域の皆さんとふれあいながら支援事業を行っております。この広場でも「血圧測定」や「高齢者の総合相談」を行い、みなさんにPRも行いました。



今回のふれあい広場 in さなだは、大勢の皆さんの御協力と御支援を頂き、大盛況の内に終了することができました。パネルシアター、大型絵本の読み聞かせ、ぶんぶんコマづくり、ボンボン釣り、わたあめ・フランクフルト、パン、アイスクリーム、おかみさんうどんなどの味覚や体験がいつでも忘れない思い出となることと思います。

真田包括支援センターは、
高齢者の生活を支える総合窓口です。
☎72-8055 有線 2080
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)

【ふれあい広場のひとコマ】



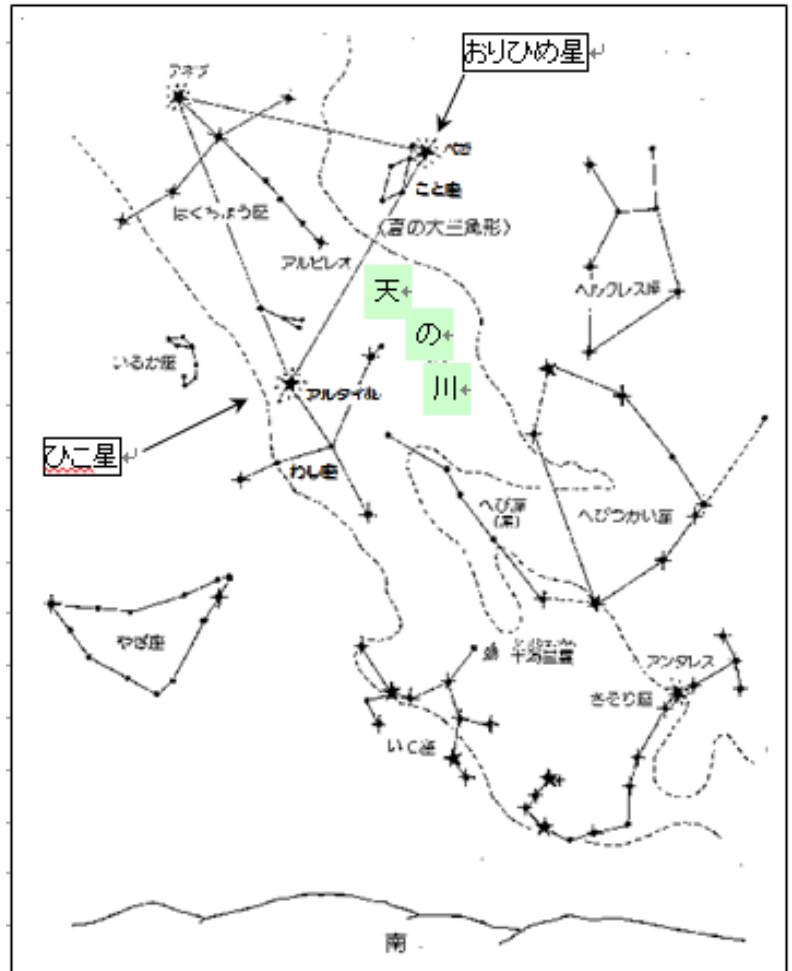
★★ お詫びと訂正 ★★

8月15日号の「美星観望」の図ですが、データーが編集集中に移動してしまって実際のものとは違ってしまいました。

寄稿して頂いた滝沢様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

右の図が正しいものです。

滝沢様には、これからも星空を見る楽しさを教えて頂けることになっておりますので楽しみに。



編集後記

- ヘアショップナカザワのご主人は、日々研究して、新しいものを取り入れているお話をうかがって、素晴らしいと思いました。(五十嵐)
- いきいき祭りで、真田中のすばらしい吹奏楽や、KDCキッズの元気いっぱいのダンス、まるこ福祉会の昭和歌謡等を拝見して、とても楽しいひと時を過ごしました。(堀内)

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp
ホームページ <http://www.azarean.jp>

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2013年12月15日の発行です。